



# 金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和2年10月16日  
福島市立金谷川小学校  
児童数 81名  
校長 宍戸 与一

## 思い出に残る運動会に

「校長先生、ずっと紅ばかり勝ってるんですよ」  
どうやらここ数年、紅組ばかり優勝しているとのこと。  
「今年は絶対（白が）勝つからね」「今年も（勝つのは）紅です～」  
子どもたちの勝利へのこだわりは、かなり  
のものです。（\*^▽^\*）

いよいよ明後日は運動会。

毎日、子どもたちの元気な声が校庭から聞こえてきます。先生方も子どもたちと一緒に練習に励んでいます。新型コロナウイルス感染症対策への配慮も欠かせません。先生方のきめ細かな対応に感謝です。

今年は地区との合同運動会。地域の方々の協力や支援がなんともありがたいです。コロナ禍の影響で、様々な制約がありますが、子どもたちを含め、参加される全ての方々にとって、楽しく思い出に残る運動会になることを切に願っております。参加者一人一人が、主人公と思える秋晴れの一日になりますように。



### かなやがわ小ブランド

昼休み、校庭にふと目をやると、ジャングルジムにいるのは、5・6年生。なんともほほえましい光景でした。普段は学校のためによく働く5・6年生。高学年になっても男女一緒に遊ぶとても仲のいい子どもたちです。

### 授業の一コマ

【4年】

みんなに分かってもらおうと、自分の考えを一生懸命説明するAさん  
担任：「言っていること分かった？」  
Bさん：「(説明が)長くて分からない」  
Aさん：「ん〜」(困った表情)  
担任：「誰か説明して」  
Cさん：挙手をして説明するも思ったことがうまく表現できず。

：

長い説明は、相手になかなか伝わりにくいものです。それをきちんと指摘できるのは、子どもたちの関係がとてもよいからなのでしょう。友達の代わりに一生懸命説明しようとする姿も立派でした。授業はとても温かい雰囲気で開催されていました。話し手も聞き手も必死。このような日々の取組が、子どもたちの心も表現力も育てていくのだと思います。

### ある日の一コマ

怪我でランドセルを背負うことができないDさん。

朝、母親の車で登校。車から降りると、Eさんが駆け寄り、ランドセルを持ってあげました。

Dさんの母：「Eさん、ありがとうね」

Eさん：にこりと軽くお辞儀。

さわやかな朝の一コマでした。

Fさんとトイレで一緒になりました。Fさんはトイレから出ようとしたときに、スリッパをきちんとそろえました。しかも、自分以外のスリッパも。

「偉いね～」と言うと、照れくさそうに急いで出て行きました。手を洗わずに…(\*^O^\*)

Fさんは、1年生です。